



神奈川県

県立相模原公園「誰もが遊べる遊具広場」の 整備に向けたアンケート結果

神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター

目 次

第1章 アンケート実施概要	1
第2章 アンケート調査結果	5
2.1 回答者の属性（問1～問4）	5
2.2 子どもの遊具利用実態（問5～問7）	10
2.3 今後の広場整備への要望（問8～問11）	14
第3章 アンケート結果のまとめ	21

第1章 アンケート実施概要

実施期間： 令和5年9月22日～10月16日（24日間）

調査目的： 神奈川県では、県立相模原公園において、障がいの状況や程度に関わらず、誰もが遊ぶことのできる遊具広場を整備するため、計画づくりを進めています。

このアンケートは、障がい当事者の保護者や支援者の皆様の普段の公園利用や今後の遊具広場整備に求めることなどをお伺いし、計画づくりの参考とするために実施しました。

対象者： 障がい当事者の保護者と支援者

対象施設： ・ 県立相模原支援学校
・ 県立相模原中央支援学校
・ 児童発達支援センター青い鳥
・ 福祉型障がい児入所施設相模はやぶさ学園

調査方法： 下記のいずれかの方法で回答いただきました。

- ① アンケート用紙(各施設から保護者、支援者へ配布)
- ② WEBアンケート（アンケート用紙に記載のURLより回答）

回答数： 315件(保護者255件・支援者60件)

設問概要： **回答者の属性(保護者のみ)**

- 問1 居住地
- 問2 障がいのある子の年齢および人数
- 問3 子どもの障がいの種類
- 問4 相模原公園の利用実態

子どもの遊具利用実態(保護者のみ)

- 問5 公園の遊具の利用実態
- 問6 公園の遊具を利用する場合の理由
- 問7 公園の遊具を利用しない場合の理由

今後の広場整備への要望(保護者+支援者)

- 問8 遊具整備にあたっての配慮事項
- 問9 求める遊びの要素
- 問10 遊具以外の配慮事項
- 問11 その他自由意見

■ アンケート(紙版)

(1) 保護者用アンケート

県立相模原公園「誰もが遊べる遊具広場」の整備に向けたアンケート調査

本報では、相模原公園において、障がいの状況や程度に関わらず、誰もが遊ぶことのできる遊具広場を整備するため、計画づくりを進めているところです。
つきましては、保護者の皆様から、日頃、公園を利用する際に感じていることや遊具広場に求めることなどをお伺いし、今後の広場整備の参考とさせていただきます。ご理解とご協力をさせていただきますようお願い申し上げます。

アンケートは、保護者の方にご回答ください。また、リーフレットもあわせてご覧ください。

【アンケート回答方法】 回答期限 令和5年 10月 10日(火)

方法① アンケート用紙で回答 ※期限までに担任の先生に提出してください。
方法② パソコン・スマートフォンからWEB 回答 ※設問数 11問 回答時間 約10分

URL <https://forms.gle/Z5tVGG8bVCbitFzb8> QRコード 

※お答えは、当てはまる番号に○を、()内には具体的な数や内容をご記入ください。

■ お答えいただく方とご家族についておたずねします。

問1. お住まいの地域を教えてください。(選択制)

1. 南区 2. 中央区 3. 緑区 4. 愛川町 5. その他()

問2. 障がいのあるお子さんの年齢及び人数を教えてください。(選択制、複数回答可)

1. 未就学児(6歳未満) 人 2. 小学生(1~3年) 人
3. 小学生(4~6年) 人 4. 中学生 人 5. 高校生以上 人

問3. お子さんの障がいについて教えてください。(選択制、複数回答可)

1. 知的障がい 2. 精神障がい 3. 発達障がい 4. 身体不自由
5. 視覚障がい 6. 聴覚障がい 7. 音声・言語機能障がい 8. 内臓障がい
9. その他()

問4. お子さんの県立相模原公園の利用について教えてください。(選択制)
※場所は、リーフレットをご覧ください。乗降する乗立乗降車庫と公園出入口の両方ともご注意ください。

4-1. 相模原公園について
1. よく利用する(月に1回以上) 2. たまに利用する(年に数回)
3. あまり利用しない(年に1回以下) 4. 利用したことがない

4-2. 相模原公園の遊具について
1. よく利用する(月に1回以上) 2. たまに利用する(年に数回)
3. あまり利用しない(年に1回以下) 4. 利用したことがない

■ 今後の遊具広場整備についておたずねします(相模原公園に限りません)

問8. 「誰もが遊べる遊具広場」の遊具について求めること、配慮してほしいことを最大3つお選びください。(選択制)

1. 子ども同士で交流しやすい遊具が配置されていること。
2. 1人で集中して遊べる遊具が配置されていること。
3. 様々な難易度の遊具があること。
4. 遊具の数や種類が豊富であること。
5. 幼児や児童が安全に遊べるように年齢に応じた遊具があること。
6. 様々な障がいの子どもが遊べる遊具があること。
7. その他()

問9. 「誰もが遊べる遊具広場」に求める遊びの要素を教えてください。最大5つお選びください。(選択制)

※遊具のイメージについては、リーフレットをご覧ください。

1. ずべる遊び	例: 滑り台など
2. 揺れる遊び	例: プランコ、シーソー、スイング遊具など
3. 回る遊び	例: 回転遊具など
4. 跳ねる遊び	例: トランポリン、クッション系遊具など
5. 登る遊び	例: ボルダリング遊具、ロープ遊具、登山など
6. 投げる遊び	例: ボール遊び、フリスビーなど
7. 走る遊び	例: グラウンド、地面の起伏や高低差など
8. 砂遊び	例: 砂場など
9. 音を楽しむ遊び	例: 楽器、伝声管、目と音が出る遊具など
10. さわって楽しむ遊び	例: バネ系遊具、足つぼ遊具など
11. 形を楽しむ遊び	例: 動物の置物遊具(オブジェ)など
12. 静かな空間で落ち着く遊び	例: ドーム型遊具など
13. 水遊び	例: 噴水、ミストなど
14. 自然と触れ合う遊び	例: 花・草木の観察、芝生に寝転ぶなど
15. ごっこ遊び	例: おままごと、お店屋さんごっこなど
16. 伝統的な集団遊び	例: 鬼ごっこ、かくれんぼ、大縄跳びなど

(上記の項目へのご意見やその他の遊びについて) (自由記述)

■ お子さんの遊具利用についておたずねします(相模原公園に限りません)

問5. 公園の遊具は、どの程度の頻度で利用していますか? (選択制)

1. よく利用する(週に数回) 2. たまに利用する(月に数回)
3. あまり利用しない(年に数回) 4. めったに利用しない(年に1回未満)

問6. 設問5で、「1. よく利用する」、「2. たまに利用する」を選択した方に伺います。

6-1. よく利用している公園はどこですか? ※公園名が分からない場合はおおよその場所をお書きください。
公園名: _____ 公園: _____

6-2. その公園をよく利用する理由、よいところを教えてください。
理由 _____
例: 自宅から近い、駐車場がある、遊具がいっぱいある など

問7. 設問5で、「3. あまり利用しない」、「4. めったに利用しない」を選択した方に伺います。あまり利用していない理由は何でしょうか? 最大5つお選びください。(選択制)

(アクセスについて)
1. 近所に遊ばせられる公園がないから。
2. 障がい者でも使いやすい広めの駐車スペースがない、もしくは少ないから。
3. 公共交通機関の利用に不安があるから。

(施設について)
4. 障がい者が容易に遊具を使用しにくい、または使用できないから。
5. 同じ遊具ばかりなので飽きたから。
6. 遊び場の近くに日陰や休憩場所が少ないから。
7. バリアフリーに配慮されたトイレが整備されていないから。

(周囲との関わりについて)
8. 子どもが人の多い場所を苦手としているから。
9. 心ない言葉をかけられたり、避けられたいりしないか不安だから。
10. 他の子とトラブルになるのが心配だから。
11. 自分が公園に来ている他の人と話すことや一緒に過ごすことが苦手だから。

(情報について)
12. 遊び場や駐車スペースの情報が少なく、安心して行けるかわからないから。
13. 障がいのある子が一緒に遊べるルールや配慮事項が示されていないから。

(上記の項目へのご意見やその他の理由など) (自由記述)

問10. 遊具以外に配慮してほしいことを最大5つお選びください。(選択制)

(アクセスについて)
1. 障がい者向けの駐車スペースが多くあること。
2. 遊具広場が、公園の入口や駐車場から近い場所にあること。
3. 公園内に有料や投募が少なく、遊具広場までスムーズに行けること。

(施設について)
4. 子どもの飛び出し防止や見守り・防犯のため、外周に柵があること。
5. 子どもの転倒時もけがをしにくい舗装(やわらかい舗装等)であること。
6. 木陰や屋根がある休憩スペースがあること。
7. テントやシートを設置できるスペースがあること。
8. 水飲み場や自動販売機などがあること。
9. ベビーカーやバギー置き場があること。
10. バリアフリーに配慮したトイレが近くにあること。
11. 緊急時に相談できる管理事務所が近くにあること。


(情報について)
12. Web サイト等で障がいのある子どもでも遊びやすい遊具や障がい者向け駐車スペースの情報がわかること。
13. 遊具広場の位置がわかりやすい案内マップや誘導のための案内があること。
14. 障がいのある子どもと一緒に遊べるルールや配慮事項が示されていること。

(上記の項目へのご意見やその他の理由など) (自由記述)

問11. その他、今回整備する「誰もが遊べる遊具広場」についてご意見がありましたら、ご自由に回答ください。(自由記述)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

※ご記入いただいた内容は、調査目的以外で使用することはありません。
※アンケートの集計結果は、計画を策定するための会議(県立相模原公園「ともいき広場」づくりワーキンググループ)や県のホームページ等で公表させていただきます。

【問い合わせ先】
アンケートについて、ご不明な点等がございましたら下記にご連絡ください。
 神奈川県 厚木土木事務所津久井治水センター 工務課公園班
電話: 042-784-1111(代表) FAX: 042-784-7696

14年度版(2023年度) 相模原市 14年度版(2023年度)

(2) 支援者用アンケート

県立相模原公園「誰もが遊べる遊具広場」の整備に向けたアンケート調査

本県では、相模原公園において、障がいの状況や程度に関わらず、誰もが遊ぶことのできる遊具広場を整備するため、計画づくりを進めているところです。
つきましては、日頃、障がい者を支援している皆様が、公園を利用する際に感じていることや遊具広場に求めることなどを御し、今後の広場整備の参考とさせていただきますと存じます。
お忙しいところ恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

【アンケート回答方法】 **回答期限 令和5年 10月 10日(火)**

方法① アンケート用紙で回答 ※期限までに各施設のご担当者の方に提出してください。

方法② パソコン・スマートフォンからWEB 回答 ※回答数 4問 回答時間 約5分

URL: <https://forms.gle/EvDdL9Nuauy6eNHJ7> QRコード

※お答えは、当てはまる番号に○を、()内には具体的な数や内容をご記入ください。
※参考資料としてご利用したリーフレットもあわせてご覧ください。

■ 今後の遊具広場整備についておたずねします (相模原公園に限りません)

問A、「誰もが遊べる遊具広場」の遊具について求めること、配慮してほしいことを最大3つお選びください。(選択制)

1. 子ども同士で交流しやすい遊具が設置されていること。
2. 1人で集中して遊べる遊具が設置されていること。
3. 様々な難易度の遊具があること。
4. 遊具の数や種類が豊富であること。
5. 幼児や児童が安全に遊べるように年齢に応じた遊具があること。
6. 様々な障がいの子どもが遊べる遊具があること。
7. その他

問B、「誰もが遊べる遊具広場」に求める遊びの要素を教えてください。最大5つお選びください。(選択制)

※遊具のイメージについては、リーフレットをご覧ください。

1. ずべる遊び	例:滑り台など
2. 揺れる遊び	例:ブランコ、シーソー、スイング遊具など
3. 回る遊び	例:回転遊具など
4. 跳ねる遊び	例:トランポリン、クッション系遊具など
5. 登る遊び	例:ボルダリング遊具、ロープ遊具、築山など
6. 投げる遊び	例:ボール遊び、frisbeeなど
7. 走る遊び	例:グラウンド、地面の起伏や高低差など
8. 砂遊び	例:砂場など
9. 音を楽しむ遊び	例:楽器、伝声筒、回すと音が出る遊具など
10. さわって楽しむ遊び	例:パネル遊具、足つぼ遊具など
11. 影を楽しむ遊び	例:動物の書物遊具(オブジェ)など
12. 静かな空間で落ち着く遊び	例:ドーム型遊具など
13. 水遊び	例:噴水、ミストなど
14. 自然と触れ合う遊び	例:花・草木の観察、芝生に寝転ぶなど
15. ごっこ遊び	例:おままごと、お店屋さんごっこなど
16. 伝統的な集団遊び	例:鬼ごっこ、かくれんぼ、大縄跳びなど

(上記の項目へのご意見やその他の遊びについて) (自由記述)

問C、遊具以外に配慮してほしいことを最大5つお選びください。(選択制)

(アクセスについて)

1. 障がい者向けの駐車スペースが多くあること。
2. 遊具広場が、公園の入口や駐車場から近い場所にあること。
3. 公園内に傾斜や段差が少なく、遊具広場までスムーズに行けること。

(施設について)

4. 子どもの飛び出し防止や見守り・防犯のため、外周に柵があること。
5. 子どもの転倒時もちがをにくい舗装(やわらかい舗装等)であること。
6. 木陰や屋根がある休憩スペースがあること。
7. テントやシートを設置できるスペースがあること。
8. 水飲み場や自動販売機などがあること。
9. ベビーカーやバギー置き場があること。
10. バリアフリーに配慮したトイレが近くにあること。
11. 緊急時に相談できる管理事務所が近くにあること。

(情報について)

12. Web サイト等で障がいのある子ども遊びやすい遊具や障がい者向け駐車スペースの情報がわかること。
13. 遊具広場の位置がわかりやすい案内マップや誘導のための案内があること。
14. 障がいのある子どもと一緒に遊べるルールや配慮事項が示されていること。

(上記の項目へのご意見やその他の理由など) (自由記述)

問D、その他、今回整備する「誰もが遊べる遊具広場」についてご意見がありましたら、ご自由に回答ください。(自由記述)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

※ご記入いただいた内容は、調査目的以外で使用することはありません。
※アンケートの集計結果は、計画を策定するための会議(県立相模原公園「ともいき広場」づくりワーキンググループ)や県のホームページ等で公表させていただきます。

【問い合わせ先】

アンケートについて、ご不明な点等ございましたら下記にご連絡ください。

神奈川県 厚木土木事務所津久井治水センター 工務課公園班
電話:042-784-1111(代表) FAX:042-784-7696

(相模原支援学校 支援者用)

(令和5年9月)

■アンケート(WEB版)

Googleフォームを利用してアンケートを作成した。

下記に回答画面(抜粋)を示す。



県立相模原公園「誰もが遊べる遊具広場」の整備に向けたアンケート調査

本県では、県立相模原公園において、障がいの状況や程度に関わらず、誰もが遊ぶことのできる遊具広場を整備するため、計画づくりを進めているところです。

つきましては、保護者の皆様が、日頃、公園を利用する際に感じていることや遊具広場に求めることなどをお伺いし、今後の広場整備の参考とさせていただきます。

**★アンケートは保護者の方がご回答ください。
★質問数は全部で11問です。(回答時間 約10分)**

■お答えいただく方とご家族についておたずねします。

問1 お住まいの地域を教えてください。

①南区

②中央区

③緑区

④愛川町

その他: _____

問2 障がいのあるお子さんの年齢及び人数を教えてください。
※該当する年齢ごとに、何名いらっしゃるかをチェックしてください。

	1人	2人	3人	4人	5人以上
未就学児(6歳未満)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
小学生(1年生～3年生)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問9-1 「誰もが遊べる遊具広場」に求める遊びの要素を教えてください。16個の項目から、最大5つお選びください。
写真は遊具のイメージです。



①すべる遊び(滑り台など)



②揺れる遊び(ブランコ、シーソーなど)

問9-2 上記の項目へのご質問やその他遊びについて、自由にご回答ください。

回答を入力

問10-1 遊具以外に配慮してほしい事を教えてください。14個の項目から最大5つお選びください。

①障がい者向け駐車スペースを多数設置

②公園入口や駐車場の近くに遊具広場設置

③段差、傾斜が少ない遊具広場までの園路

④外周柵(飛び出し防止、見守りのため)

⑤けがをしにくい舗装(やわらかい舗装)

⑥休憩スペース(木陰、屋根付き休憩所)

⑦テントやシートの設置スペース

⑧水飲み場や自動販売機(水分補給施設)

⑨ベビーカーやバギー置き場

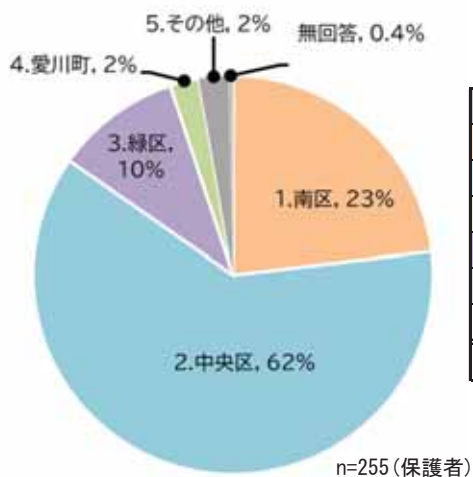
第2章 アンケート調査結果

2.1 回答者の属性

問1. お住まいの地域を教えてください。(選択制)

1. 南区 2. 中央区 3. 緑区 4. 愛川町 5. その他()

- ・アンケートを配布した3つの施設のうち、「相模原中央支援学校」と「青い鳥」が中央区にあるため、中央区に住んでいる回答者が多い結果となっている。



	回答数	比率
南区	59	23%
中央区	157	62%
緑区	26	10%
愛川町	6	2%
その他	6	2%
無回答	1	0.4%
回答総計	255	100%

5. その他の地域

地域名	回答数
厚木市	4
座間市	1
大和市	1
計	6

問2. 障がいのあるお子さんの年齢及び人数を教えてください。(選択制、複数回答可)

1. 未就学児(6歳未満)____人 2. 小学生(1~3年)____人
 3. 小学生(4~6年)____人 4. 中学生____人 5. 高校生以上____人

(1)障がいのある子どもの年齢

- ・回答者の子どもの総数は301人となっている。
- ・そのうち、高校生以上の子どもは約4割を占めており、他の年代の約2倍となっている。
- ・中学生以下の年代は、同等の比率となっている。

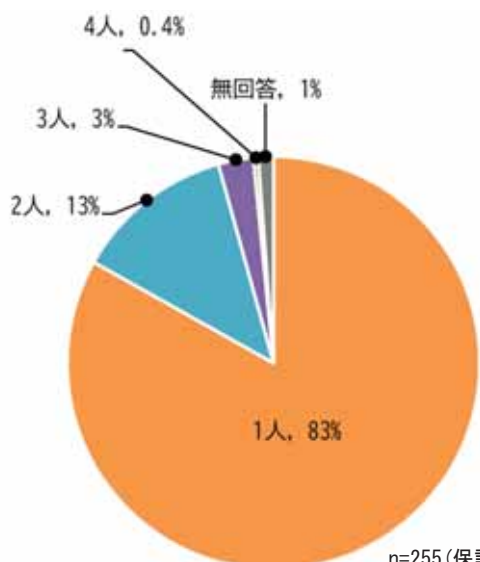


	回答数	比率
未就学児(6歳未満)	46	15%
小学生(1~3年)	50	17%
小学生(4~6年)	51	17%
中学生	50	17%
高校生以上	104	35%
無回答	3	-
回答総計	304	101%
子どもの総数(無回答抜き)	301	100%

n=301(子どもの総数)

(2)各家庭の障がいのある子どもの人数

- ・回答者の約8割は、障がいのある子どもは1人のみとなっており、2人いる回答者は約1割となっている。



	回答数	比率
1人	212	83%
2人	32	13%
3人	7	3%
4人	1	0.4%
無回答	3	1%
回答総計	255	100%

n=255(保護者)

問3. お子さんの障がいについて教えてください。(選択制、複数回答可)

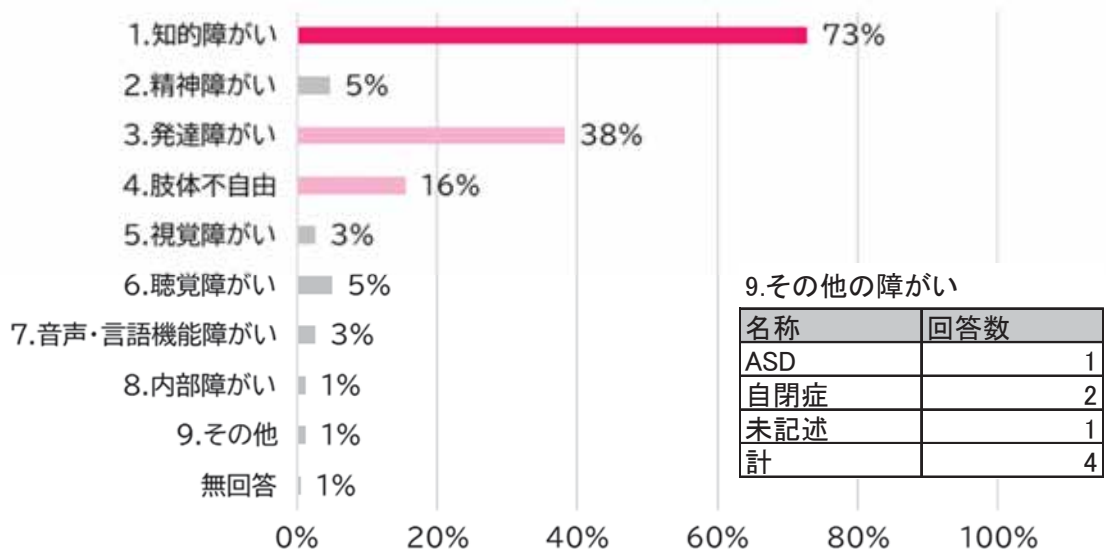
- | | | | |
|-----------|----------|---------------|----------|
| 1. 知的障がい | 2. 精神障がい | 3. 発達障がい | 4. 肢体不自由 |
| 5. 視覚障がい | 6. 聴覚障がい | 7. 音声・言語機能障がい | 8. 内部障がい |
| 9. その他() | | | |

・「知的障がい」の子どもが最も多く、約7割となっている。
 ・次に多いのが「発達障がい」、「肢体不自由」の順となっている。



設問に対する回答数が、子どもの総数よりも多いことから
 複数の障がいを有する子がいることが分かった。

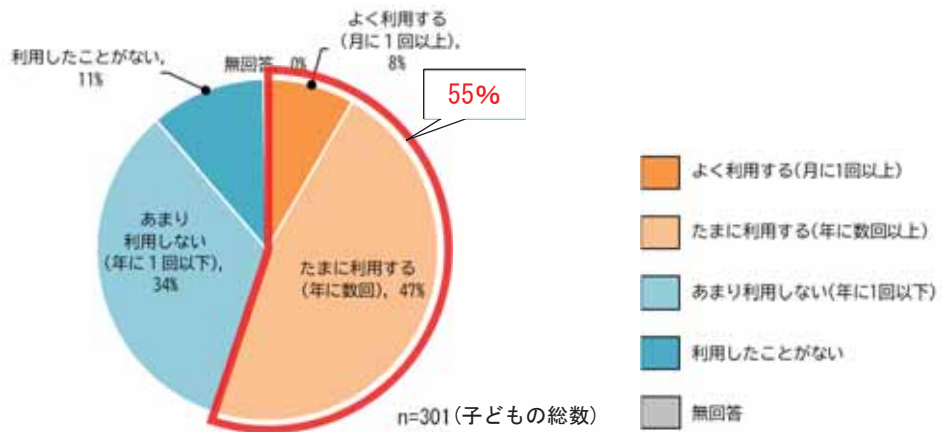
	計	子ども数に対する割合
1.知的障がい	219	73%
2.精神障がい	14	5%
3.発達障がい	115	38%
4.肢体不自由	47	16%
5.視覚障がい	8	3%
6.聴覚障がい	15	5%
7.音声・言語機能障がい	8	3%
8.内部障がい	4	1%
9.その他	4	1%
無回答	2	1%
回答数合計	436	145%
子どもの総数	301	100%



問4-1.お子さんの県立相模原公園の利用について教えてください。(選択制)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. よく利用する (月に1回以上) | 2. たまに利用する (年に数回) |
| 3. あまり利用しない (年に1回以下) | 4. 利用したことがない |

・相模原公園を「よく利用する」、「たまに利用する」子どもは約6割となっている。

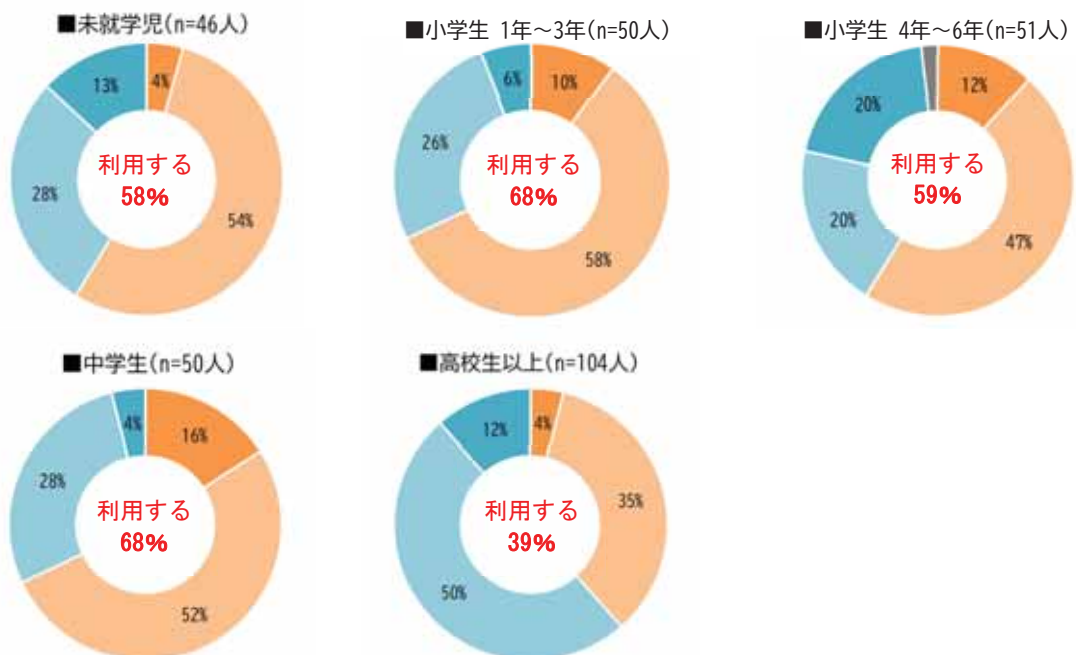


年代別

・中学生までの年代の利用は約6割、高校生以上は約4割となっている。



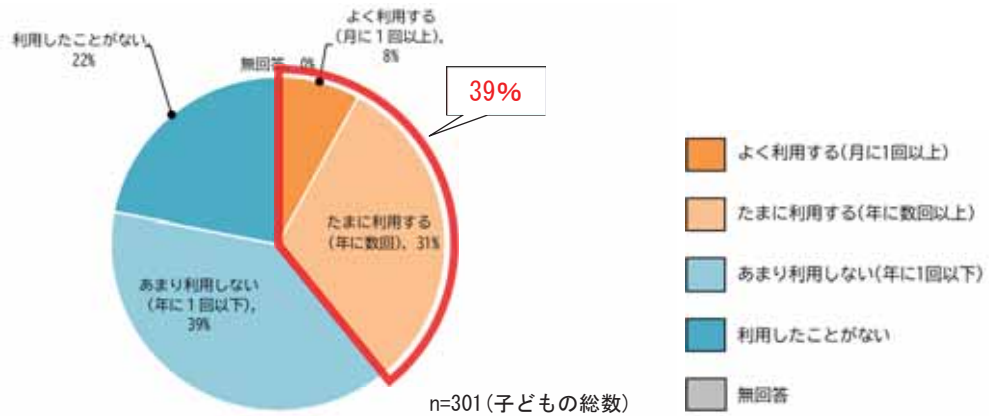
高校生以上になると相模原公園の利用頻度が減ることが分かった。



問4-2. お子さんの県立相模原公園の遊具の利用について教えてください。(選択制)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. よく利用する (月に1回以上) | 2. たまに利用する (年に数回) |
| 3. あまり利用しない (年に1回以下) | 4. 利用したことがない |

・相模原公園の遊具を「よく利用する」、「たまに利用する」子どもは約4割となっている。

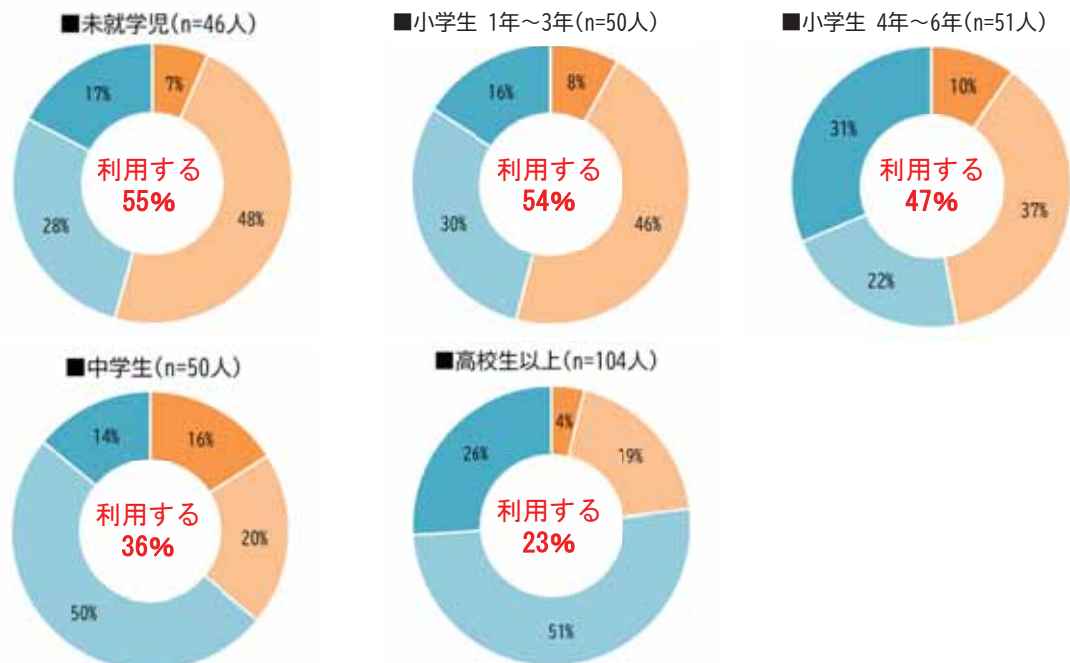


年代別

・相模原公園の遊具は未就学児～小学生の約5割が利用しており、中学生は約4割、高校生以上は約2割となっている。



中学生以上になると相模原公園の遊具の利用頻度が減ることが分かった。

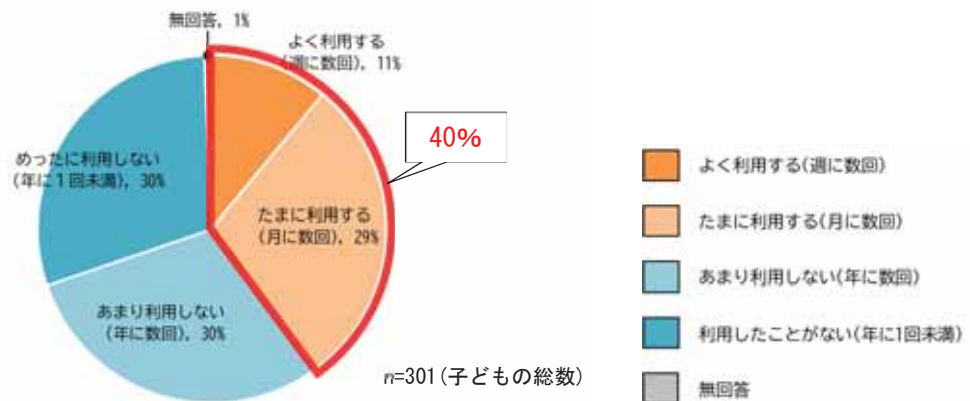


2.2 子どもの遊具利用実態

問5. 公園の遊具は、どの程度の頻度で利用していますか？（選択制）

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. よく利用する（週に数回） | 2. たまに利用する（月に数回） |
| 3. あまり利用しない（年に数回） | 4. めったに利用しない（年に1回未満） |

・公園の遊具を「よく利用する」、「たまに利用する」子どもは4割となっている。

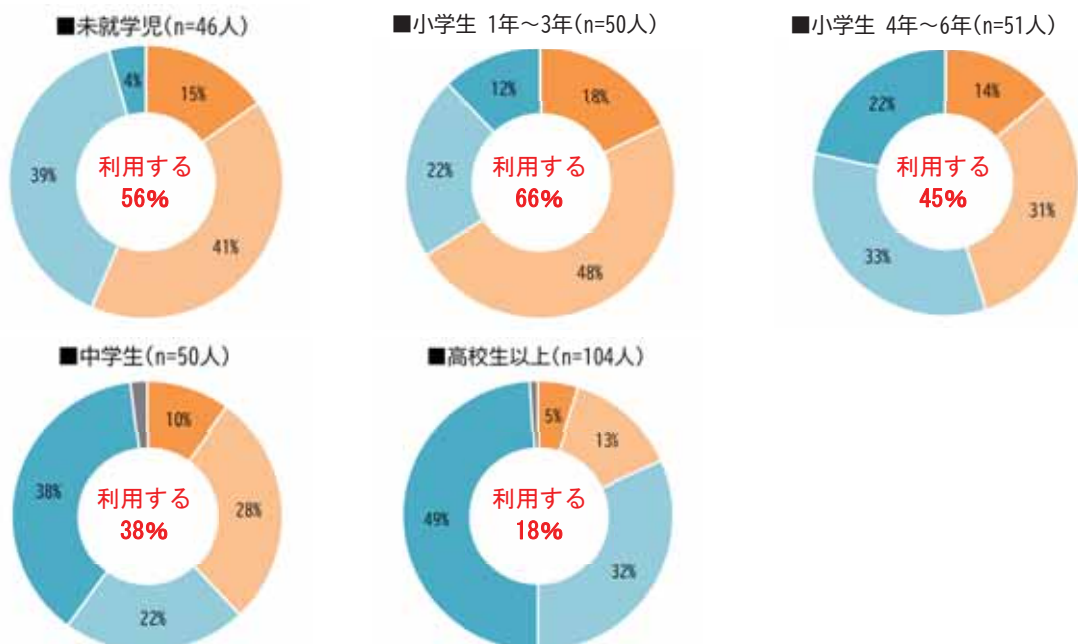


年代別

・未就学児、小学生1年～3年の約6割が公園の遊具を利用しているが、小学生4年～6年と中学生は約4割、高校生以上は約2割となっている。



小学生1年～3年(6歳～9歳)が一番遊具を利用している年代であり、小学生4年(9歳)以降から公園の遊具の利用が減っていくことが分かった。



問6. 設問5で、「1. よく利用する」、「2. たまに利用する」を選択した方に伺います。

6-1. よく利用している遊具がある公園はどこですか？

■上位10箇所

n=109

公園名	回答数
1. 相模原麻溝公園	20
2. 相模原公園	15
3. 鹿沼公園	11
4. あいかわ公園	7
5. 津久井湖城山公園	6

公園名	回答数
6. てるて公園	4
7. 横山公園	4
8. 淵野辺公園	4
9. 上矢部公園	3
10. 相模原スポーツレクリエーションパーク	3



6-2. その公園の遊具をよく利用する理由、よいところを教えてください。(自由回答)

- ・ 一番多い理由は、「自宅から近い」となっている。
- ・ ブランコやすべり台、ふわふわドームなど、子どもが気に入った遊具があることや同じ遊具の複数設置が理由に挙がっている。
- ・ 休憩場所やトイレ、駐車場など、遊具以外の要素も理由となっている。

■主な理由

- ・ 自宅から近い
- ・ 大きな遊具がある
- ・ 遊具が沢山ある
- ・ 大好きなブランコがある
- ・ ブランコが4つあり、空いていることが多い
- ・ 好きな遊具がある(ふわふわドーム、長い滑り台、幅広滑り台、アスレチック)
- ・ 年齢にあった遊具がある
- ・ 水あそびができる
- ・ 遊び場が人で密集しすぎない
- ・ 駐車場がある、多い
- ・ 駐車場があり、遊具まで近い
- ・ 木陰で休める
- ・ トイレに行きやすい
- ・ 他に行くところがない
- ・ デイサービスで利用

問7. 設問5で、「3. あまり利用しない」、「4. めったに利用しない」を選択した方に伺います。あまり利用していない理由は何でしょうか？（選択制）

- ・一番多い理由は、「障がいが原因で遊具を使用しにくい、または使用できない」となっている。
- ・次に多い回答は、「他の子とのトラブルが心配」、「日陰や休憩場所が少ない」、「近所に遊ばせられる公園がない」、「心ない言葉や態度への不安」の順となっている。
- ・自由回答では、年齢制限や他の子への迷惑などを気にして、遊びたくても遊べないという意見も見受けられる。

	回答数	比率
1.近所に遊ばせられる公園がないから	36	20%
2.障がい者でも使いやすい広めの駐車スペースがない、もしくは少ないから	34	19%
3.公共交通機関の利用に不安があるから	14	8%
4.障がいが原因で遊具を使用しにくい、または使用できないから	73	41%
5.同じ遊具ばかりなので飽きたから	25	14%
6.遊び場の近くに日陰や休憩場所が少ないから	45	25%
7.バリアフリーに配慮されたトイレが整備されてないから	24	14%
8.子どもが人の多い場所を苦手になっているから	31	18%
9.心ない言葉をかけられたり、避けられたりしないか不安だから	36	20%
10.他の子とトラブルになるのが心配だから	48	27%
11.自分が公園に来ている他の人と話すことや一緒に過ごすことが苦手だから	9	5%
12.遊び場や駐車スペースの情報が少なく、安心して行けるかわからないから	26	15%
13.障がいのある子が一緒に遊べるルールや配慮事項が示されていないから	31	18%
無回答	17	10%
回答総計	449	-
問7の回答者数	177	100%



n=177(問7の回答者数)

問7の自由回答（公園の遊具を利用していない理由や意見）

n=42(回答者数)

遊具について

- 肢体不自由のため遊具の利用自体が難しい。
- 抱っこしての利用はケガを懸念して諦めた。
- 寝転がって遊べるものや安定して座れる仕組みがほしい。
- 肢体不自由児が乗りやすいブランコ等がないと何もできず帰ることになる。

年齢について

- 年齢制限(12歳まで)のため、遊びたくても遊べない。
- 知的障害とてんかんがある為、小学生位でやっと遊べそうな遊具（滑り台や簡単なアスレチック等）は年齢制限があって利用できない。
- もう中学生なので本人は遊びたくても、見た目的にそぐわなくなっている。
- 公園の遊具は小さな子ども用で大人が遊べる遊具がないから。
- 高校生なのでもう遊具は利用しない。アスレチックなどは利用している。

周囲との関わりについて

- 順番待ちができず、他の子とトラブルになって怖い思いをした。
- 他の子の邪魔になったり、人の目が気になってしまうので利用できなかった。
- 障がいの子が安心して気にせず遊べる場所があると嬉しい。
- コミュニケーションが苦手な運動発達面で遅れがあるため、活発な動きの子が周りにいると怖い。障がいや特性のある子が優先的に使えるゾーンや施設がほしい。
- 体も大きくなり、動きも活発になってきたことにより、小さい子と一緒に遊具で遊ぶのは危険が伴う。
- 他の子ども達と遊び方が違い、遠慮してしまう。
- 健常の子が出す音や声が苦手なので、一緒に遊べるわけではない。
- 車いすが邪魔だと周りからいろいろ言われるのが嫌だから。
- 利用できる遊具があっても、健常の子がどいてくれないと思う。健常者とは完全に分けてほしい。

公園施設について

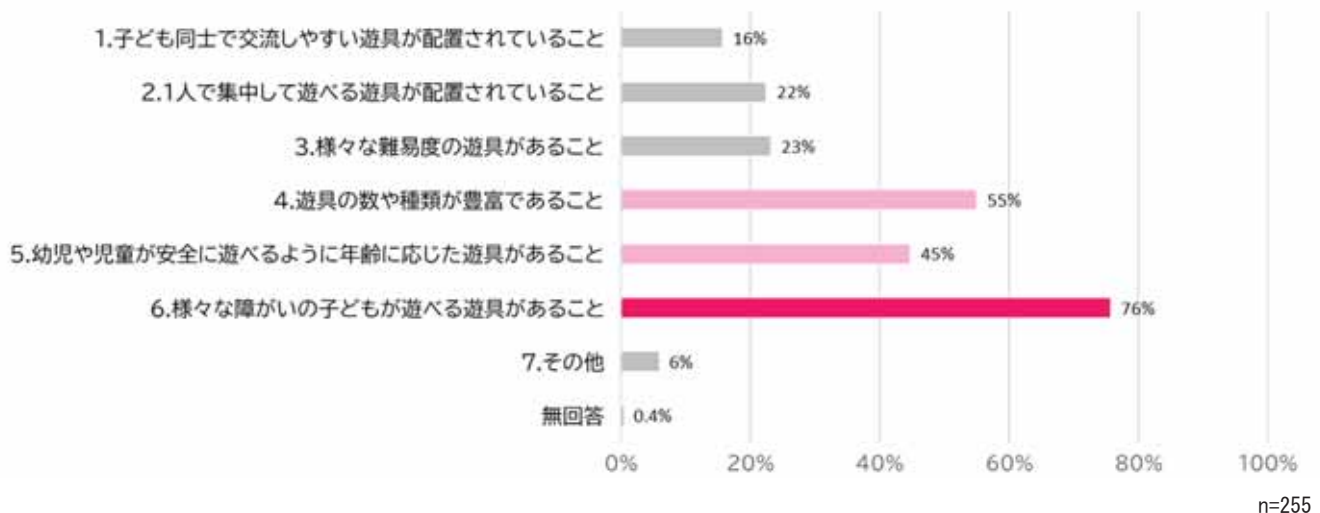
- 広めの駐車スペースがあっても、遊び場までの距離が遠い。
- 遊具のある場所は砂地が多く、車いすの車輪では走行しにくい。走行しやすいように整備してほしい。
- 障がい者用トイレがあってもおむつ交換できる大きなベッドが無い。

2.3 今後の広場整備への要望

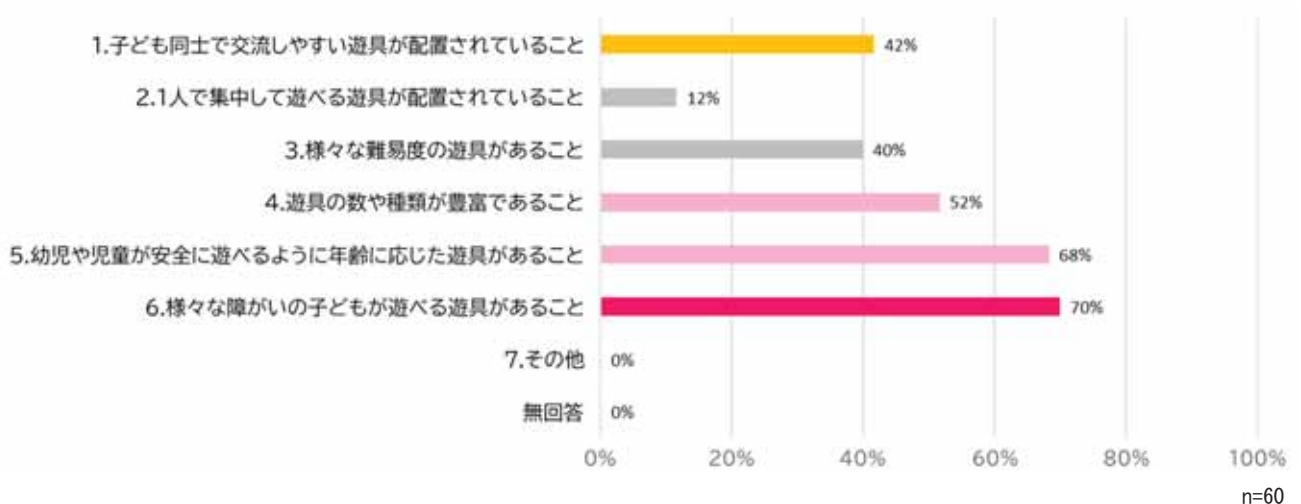
問8. 「誰もが遊べる遊具広場」の遊具について求めること、配慮してほしいことを最大3つお選びください。(選択制)

- ・保護者、支援者ともに、一番多い要望は「様々な障がいの子どもが遊べる遊具」となっている。
- ・次に多いのは、「遊具の数や種類が豊富であること」、「年齢に応じた遊具があること」となっている。
- ・支援者に関しては、「子ども同士が交流できる遊具」の要望も多い。
- ・自由回答では、「親子で遊べる遊具」や「人気の遊具を複数配置する」などの要望も見受けられる。

■保護者



■支援者



問8の自由回答（誰もが遊べる遊具広場の遊具に求めること）

n=14(保護者) n=2(支援者)

遊具について

- 年齢制限がなく、誰でも安心して遊べる遊具であること。
- 18歳まで遊べる遊具がある。
- 体が大きいが、まだまだ遊具で遊びたがる。今は中々遊具が使えず、広い公園でウォーキングばかりしている。
- 小学生になってやっと滑り台を滑れるようになったが、幼児向けの遊具で遊ばせにくかった。大きな子も滑れるような遊具であってほしい。
- 並んだり、先に行ってもらったりの判断ができないので、大型で他の子が来ても迷惑になりづらい遊具がよい。
- 大人も体を動かすための運動遊具があること。
- 介助に必要なスペースのある遊具。
- 年齢は大きいですが、怖がりな幼児用遊具だと安心して遊べるため、設定を『〇〇歳まで+ハンデのある方』みたいにしてほしい。
- 親子で楽しめる遊具があるとよい。
- 子どもだけでなく、高齢者も健康維持に遊具を使えるようにしてほしい。

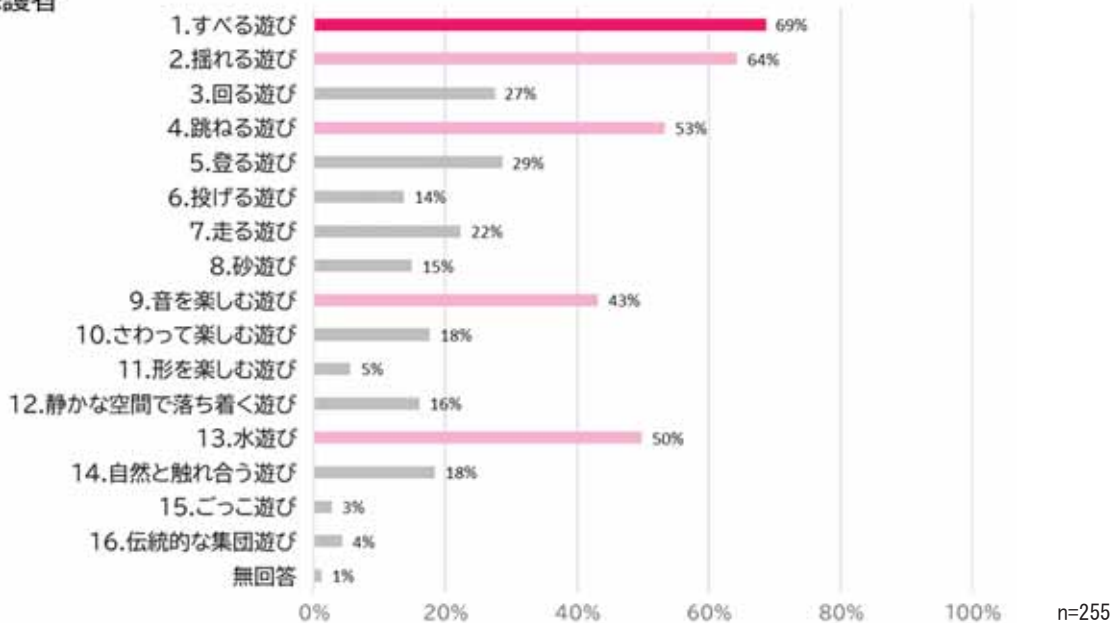
遊び場について

- 人気のあるブランコなどは複数配置するなどの工夫があれば、順番待ちのできない子も助かると思う。
- 他の子が遊んでいるとやめてしまうため、一人一人遊具が終わったら次に行くという流れがあるとよい。
- 年齢に合わせた遊具が年代別でまとまっていると遊ばせやすい。
- 体が大きくても一緒に遊べる遊具や案内表示。
- 遊具で遊んでいても冷ややかな目が無いと嬉しい。

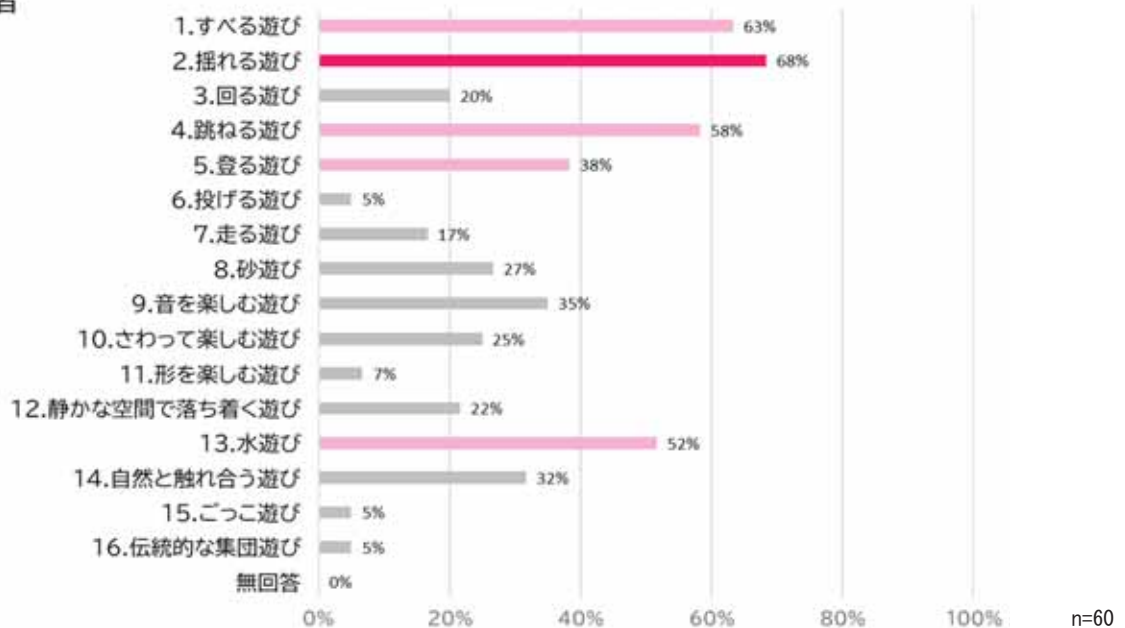
問9. 「誰もが遊べる遊具広場」に求める遊びの要素を教えてください。
最大5つお選びください。(選択制)

- ・保護者、支援者ともに「すべる」、「揺れる」、「跳ねる」、「水遊び」が上位となっている。
- ・その他は、「音を楽しむ遊び」、「登る遊び」も人気である。
- ・自由回答では、「大人も一緒に使える遊具」、「車いすに乗ったまま遊べる遊具」、「大型複合遊具」、「力が弱くても遊べる遊具」、「築山など自由度のある遊具」への要望も見受けられる。

■保護者



■支援者



問9の自由回答（誰もが遊べる遊具広場に求める遊びの要素）

n=40(保護者) n=5(支援者)

遊具、遊び場について

- 滑るのも登るのもOKな滑り台。
- 背もたれがあるブランコや寝て乗れるブランコ、複数人で乗れるブランコ。
- 車椅子でも乗れる回転遊具。
- 体格が大きくても遊べるトランポリン遊具。
- 跳ねる遊びで、ごろんできるような作り。
- 大きい子も遊べる水遊び場。
- 見て楽しむことが多いので視覚に刺激を受けるようなもの（変化や回転、色が変わるなど）
- 車椅子なので視覚・聴覚で感じる遊びじゃないとできない。
- 大きめの子どもが乗れる遊具。
- 親と一緒に遊んでみようと思うことも多いので、大人も一緒に使える遊具。
- 車いす、バギーで通れるトンネルなど。
- 肢体不自由でもゴロンしながら楽しめる遊び。
- 大型複合遊具など一度に大人数が遊べるもの。
- 力が弱くても遊べる遊具。
- 小さな穴やトンネル、大人が登れない場所のある遊具は、子どもだけになり、ハラハラするため、大人が見守ってすぐに近寄れる遊具が欲しい。
- 高い場所から、急がされずゆっくりと遠くを眺められるような場所(遊具)。
- 芝生の斜面や築山など、自分で遊び方を見つける空間の方が、長く、幅広い年齢に活用されると思う。
- 出口、入口がある遊具は守れない子もいるので配慮してほしい。

遊び場周辺の施設について

- 天候に左右されずに車いすが入れるような舗装がよい。
- 転倒時にけがをしにくい、クッション性のある舗装だと安心できる。
- 見守る大人も暑いので、日陰など休める場所があると嬉しい。
- 肢体不自由の子がゆっくり横になれるスペースやベンチがあるとよい。
- 柵などがあると助かる。

遊び場の情報について

- 遊具ごとに、遊び方やしてはいけないことなど、分かりやすいルールが絵で描いてある看板があるとよい。
- 障害がある子のことを理解してもらえそうな案内看板があると理解が進むと思う。

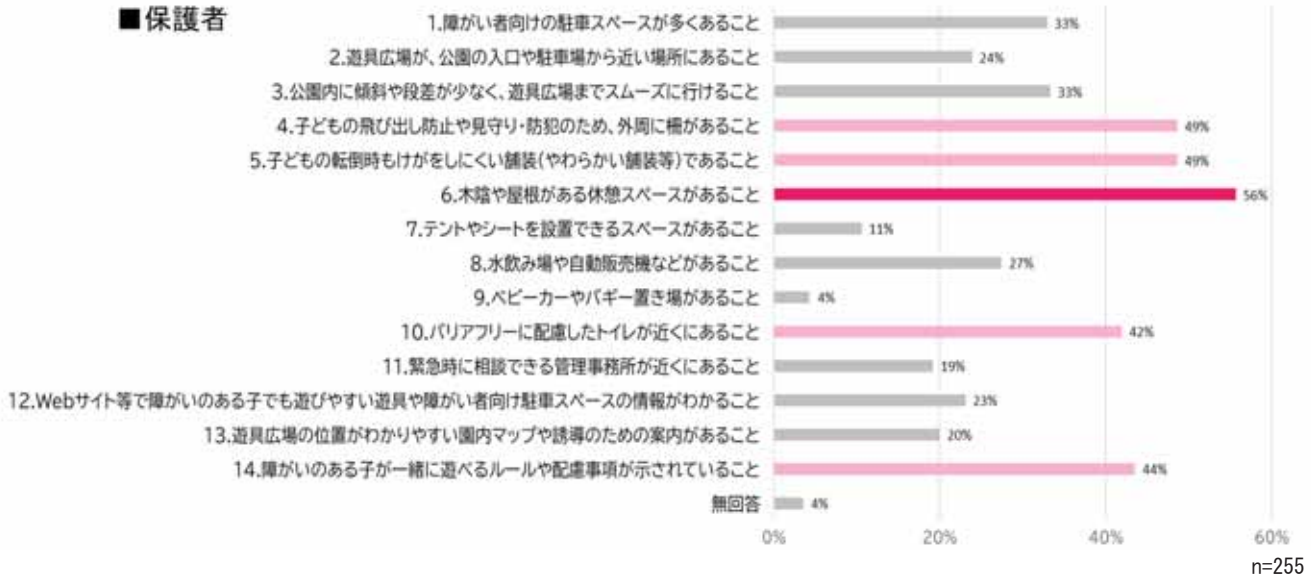
問10.遊具以外に配慮して欲しいことを最大5つお選びください。(選択制)

- ・保護者、支援者ともに、「木陰や屋根のある休憩場所」を一番に求めている。
- ・次に多く求めている事項は、保護者、支援者でやや異なっている。
- ・保護者が次に多く求めているのは、「外周柵」、「やわらかい舗装」、「ルール表示」「バリアフリーなトイレ」の順となっている。
- ・支援者が次に多く求めているのは、「バリアフリーなトイレ」、「傾斜、段差が少ない園路」、「やわらかい舗装」、「駐車場から近い場所」の順になっている。

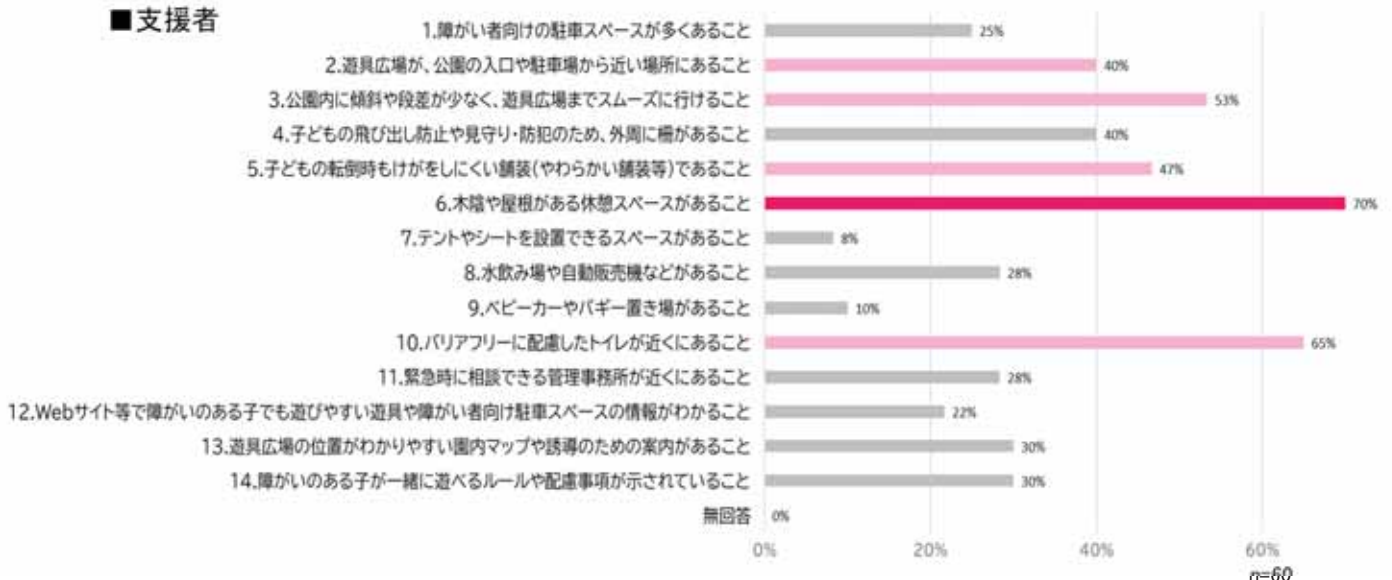


問7の公園の遊具を利用しない理由で挙げた「日陰や休憩場所が少ない」、「他の子とのトラブルが心配」などに対して、配慮してほしいと強く望んでいることが分かった。

■保護者



■支援者



問10の自由回答（遊具以外に配慮して欲しいこと）

n=39(保護者) n=3(支援者)

施設について

- 休憩場所は、ベンチなど多めにあると嬉しい。
- 休憩スペースは風雨がしのげ、暖かいかが重要。
- 日陰で休めるスペースが複数あると助かる。
- バリアフリートイレは、広さとユニバーサルベッドがあることが重要。
- 多機能トイレの数を増やしてほしい。
- おむつ替えのための大きめのベッドを障がい者用トイレに設置してほしい。
- みんなのトイレのほかに親子(男女関係なく)で入れるトイレがほしい。
- 障がいがあると他の子や保護者に気を使うが増えるので、目立たない場所や簡単な仕切りや個室のようなスペースがあると嬉しい。
- 危険がわからない多動症の子が安全に走り回れる外周柵のある場所がほしい。

運営について

- 障がいのある子が一緒に遊べるルールや配慮事項は、掲示するだけでは不十分と感じるが、無いよりはあった方がよい。
- 色々な病気や障がいのある子がいることを知ってほしい。
- 双方が気持ちよく利用するために様々な障がいや個性を持つ子に対して配慮している点などを掲示してほしい。
- WEBサイトで具体的にこんな遊具があるよと紹介してほしい。
- 文字や看板などで公園に案内板等掲示してあるが、読む人は少ない。映像やアナウンス等でわかりやすくアピールできるものがよい。
- ルールを守れない人を注意する人がいてほしい。
- 常に見守りが必要で、かつ本人の興味関心のある遊びを提案したり、指導が必要なため指導員配置を希望。

アクセスについて

- 公園に限らず、障がい者駐車スペースが少ない。
- 精神障がい者だと障がい者向け駐車区画への駐車が難しいため、普通車の駐車台数が多いと助かる。

遊具、遊び場について

- 障害の有無に関わらず遊べる遊具がほしい。
- 座位保持椅子等からの目線の位置で見る、触れる(例えば押すと音が出る)遊具があるとよい。

問11. その他、今回整備する「誰もが遊べる遊具広場」についてご意見がありましたら、ご自由に回答ください。

n=60(保護者) n=11(支援者)

遊具について

- 真夏でも熱くない素材の遊具だとよい。
- 力を合わせたり、支え合ったりしながら一緒に楽しめる遊具があるとよい。

遊び場について

- 障がいのある方、ご家族が気兼ねなく楽しめる場所となることを期待している。
- 安全安心を第一に、子ども達が思いっきり遊べる場所を作ってほしい。
- 不審者や迷子対策として見晴らしの良い公園にしてほしい。
- 並ぶ順番や進む方向などの動線がわかりやすい視覚的な表示があるとよい。
- 子どもが公園の違いを認識できるくらい違った感じにしてほしい。
- 知的障がいや重い発達障がいの場合には、ルールを理解することが難しいため、みんなと一緒に遊ぶことが難しい子が一人で遊べる遊具や場所がほしい。

遊具以外の施設について

- 多目的トイレが多めにあると助かる。
- 障害のある子の着替えには広いスペースが必要。プライバシーを守り衛生的に着替えられる場所があるとよい。
- 売店も併設されているとありがたい。

情報について

- 土日は混雑するため障がいのある子は利用しにくい。そうならないための工夫がほしい。
- 自分の子どもはしっかり見守ることを大きく書いてほしい。
- 掲示板等に障害がある子への配慮を示すこと、公園を利用する皆さんの理解が必要。

その他について

- 発達障がいのある子でも、皆と同じように公園で遊びたいと思っている。障がいの有無を問わず、遊具広場で思いっきり遊べることを心から願っている。
- 障がいのある子が邪魔扱いされず、気持ちよく遊ぶことのできる公園がほしい。せめて時間や日時を決めて障がいのある子の家族のみが遊べるイベントをつくってほしい。
- 「誰もが遊べる遊具広場」は難しいと思うが、ぜひ期待している。
- 障がい児と健常児が同じ場で遊んでいることに意義があると思う。その中で少しでも交流できるとよい。
- 公園遊びが必要な年齢で障がいのある子を安心して遊ばせられる場所ができるのは大変喜ばしい。

第3章 アンケート結果のまとめ

■子どもの遊具利用実態

未就学児、小学生1～3年(8歳未満)は約6割、小学生4年～6年、中学生(9～15歳)は約4割が遊具を利用しているとの結果で、一般的な公園利用からすると少し低い数値であった。

遊具を利用しない理由については、「障がいが原因で遊具を使用しにくい」という物理的な面と「他の子とのトラブルが心配」という心理的な面の両方が挙げられており、健常の子に比べて公園の遊具を利用しにくい実態が伺えた。

また、9歳以上は一般的に遊具の利用が減少傾向になる年代ですが、「年齢制限(12歳)のため、遊びたくても遊べない」、「体が大きい、まだまだ遊具で遊びたがる」のように年齢が高くても遊具で遊びたい、という意見も多く寄せられた。

■今後の広場整備への要望

(1) 遊具について

保護者、支援者ともに「様々な障がいの子どもが遊べる遊具」を求める意見が一番多かった。求める遊びとしては、滑る、揺れる、跳ねるなどほか、音を楽しむ遊びなどが上位になっていた。

自由意見では「年齢制限がない遊具」や「親子で遊べる遊具」のほか、「車いすにのったまま遊べる遊具」や「力が弱くても遊べる遊具」、「築山など自由度のある遊具」など、誰もが遊べる遊具広場の遊具として、どのような遊具が必要なのか様々なご意見をいただいた。

また、他の子とトラブルになりやすい「順番待ち」が軽減されるような対策として「人気のある遊具の複数配置」や「並ぶ順番や方向が分かりやすい表示」などの意見も寄せられた。

(2) 遊具以外の施設について

保護者、支援者ともに「木陰や屋根のある休憩スペース」を求める意見がいちばん多かった。次いで「けがをしにくい柔らかい舗装」や「飛び出し防止のための外周柵」、「障がいのある子が一緒に遊べるルールを表示」、「バリアフリートイレ」などを求めており、障がいのある子の特性に配慮し、公園の遊具を安全に、快適に、そして安心して利用できるような施設整備を求めている。

■その他自由意見

「障がいのある方、ご家族が気兼ねなく楽しめる場所となることを期待している」、「障がいのある子どもと健常の子どもが同じ場で遊んでいることに意義があり、その中で少しでも交流ができるとよい」というような期待感を示すご意見がある一方、「公園を利用する皆さんの理解が必要」、「インクルーシブも大事だが、区別することも必要な場合がある」など、誰もが遊べるの趣旨に理解を示しつつも、一緒に遊ぶことへの不安感を示すご意見もあった。

■まとめ

今回のアンケート調査では、障がいのある子の保護者や支援者に、普段の公園利用をお伺いし、障がいのある子にはハード面、ソフト面のハードルがあり遊具を使用しにくい実態があることが分かった。

また、誰もが遊べる遊具広場の整備についてお伺いし、公園の遊具を安全に、快適に、そして安心して利用できるよう、遊具についてだけでなく、トイレや休憩施設などについても様々な配慮を求めていることなどが把握できた。



神奈川県

厚木土木事務所津久井治水センター

〒252-0157 相模原市緑区中野 937-2 (津久井合同庁舎 2階)

電話 042-784-1111 (代表) FAX 042-784-7696

発行 令和6年3月